



2023 AUTOBACS SUPER GT Round6 SUGO GT 300km RACE REPORT

カテゴリー :GT300
カーナンバー :9
エントラント名 :PACIFIC RACING TEAM
マシン名 :PACIFIC ぶいすぽっ NAC AMG
タイヤ :YOKOHAMA
ドライバー :阪口良平、Liang Jiatong、川端伸太郎
レースクイーン :Pacific Fairies
開催日 :2023年9月16日-17日
会場 :スポーツランドSUGO (一周3.621 km)
天候 :9月16日☁ (WET/DRY)9月17日☀ (DRY)
気温 :9月16日 23℃ 9月17日 28℃
路面温度 :9月16日 25℃ 9月17日 33℃
参戦車両数 :GT500/15台 GT300/25台 合計40台
Best Lap :1'21.635
Q1(B Group) :11位/12台
決勝 :17位/25台



着実に周回を重ね
波乱のレースを17位で完走

事前情報

SUPER GT 2023シリーズではMercedes AMG GT3で参戦。

女性バーチャルYouTuberグループ「ぶいすぽっ！」とタイアップし、スポーティー&ポップなカラーリングで大きな注目が集まる。

Rd.1岡山戦でのクラッシュにより重大なダメージを負ってしまい、Rd.2富士戦は欠場となったが、車両入替でRd.3鈴鹿戦は見事復帰を果たした。

Rd.5鈴鹿の決勝レースではあと一歩で入賞というポジションにまで追い上げただけに、今回もどこまで追い上げられるかに注目が集まる。

今回の舞台であるスポーツランド菅生はタイトなコーナーに激しいアップダウンのあるテクニカルコースであるため、サクセスウェイトを積んでいない9号車には上位層に肉薄する走りが期待される。

公式予選：Q1 Bグループ^o



2023.9.16

14:58-15:08

Driver 阪口良平

天気 曇り

路面 WET/DRY

Best Lap 1'26.400

LAP数 3Lap

■菅生攻略のカギ「タイヤ」と「天候」に苦戦しQ2進出ならず

GT300クラスの予選は、シリーズランキングに基づきA組、B組に分けられ、PACIFIC ぶいすぽっ NAC AMGはB組に区分された。12台のうち上位8台に入れば、Q2進出となる。

ドライブするのは阪口良平。A組走行時から降り出していた雨は短いインターバルの間にやみ、路面コンディションはウェットからドライに。タイヤチェンジのためピットインを行うチームも出てくる中、タイヤチョイスが裏目に出た9号車はアタックラップを決めきれず、12台中11番手とQ2進出は叶わなかった。

決勝



2023.9.17 13:35-16:20

Driver 阪口良平 / Liang Jiatong

天気 曇り

路面 DRY

Best Lap 1'21.635

LAP数 52Lap/25Lap

17日の菅生、決勝レーススタート前の気温は28度、路面温度は33度とタイヤにとっては最適のコンディションとなった。また、心配された天候についてもレーススタート前に少し雨がぱらつく程度に留まり、ドライコンディションでレースに臨むこととなった。

22番手スタートとなった9号車、スタートドライバーは阪口良平。

序盤こそ狭いコースレイアウトに苦戦し下位を走るものの、阪口らしい安定したドライブで順調に周回を重ねじりじりとポジションを上げていく。そして37LAP目にはピットストップ義務を果たしていないとはいえ2番手にまで上昇することとなった。

このまま最後まで入賞圏内を保てるか注目が集まった矢先の39LAP目、最終コーナーの立ち上がりで他車のアクシデントが発生。セーフティカーが導入されピットクローズとなり、その後間もなく40LAP目に赤旗の提示へと変わりセッション中断となった。

事故処理後の約1時間後、午後3時20分に再スタートが切られる。

ピットインのタイミングがカギとなる9号車。300クラス車両全25台中23台が既にピットインを終えた52LAP目を終えたところでピットイン。給油作業を行うとともにLiangへドライバー交代し、残りのLAPでの追い上げを託す。

しかしピットインにより生じたポジションダウンを巻き返すまでには至らず、17番手でチェッカーとなった。

次戦のオートポリスからはサクセスウェイトが半減するため、ウェイトを積んでいない9号車としてはここでどうにかポイントを稼ぎたかったところだが、あと一歩というところで悔しい結果となった。

COMMENT



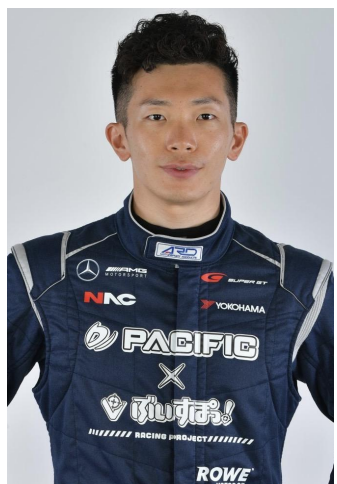
エントリー代表 神野元樹

「今回は予選から苦戦し、決勝でもなかなか追いつけきれない悔しい結果となりました。しかし、開幕から波乱のレースや車両のトラブルが相次ぐ中で、前戦の鈴鹿に引き続き完走することができたのには大きな意味があると感じています。また、今回のレースで見つかった課題をチーム全体でクリアしていくことが、残り2戦を充実した内容で戦う大きな糧になると思っています。次戦はオートポリスです。残り2戦、ファンの皆さんに『9号車を応援していて良かった。』と喜んでもらえるような走りができるよう、引き続き全力で頑張ります。ご声援のほどよろしくお願いいたします。」



阪口良平

「前戦の良い流れから菅生に入ることができました。ブレーキ関係の新しいことにチャレンジし前向きなデータを取れましたが、予選では天候が不安定になりセッティングを元に戻すことになり、アウトラップから確認している間に天候が急回復しタイヤ選択を誤ってしまいました。しかし、レースではギアトラブルがあったもののスタートからロングステントを力強く走ることができ、可能性を感じられる内容となりました。今回もフィーリング・ラップタイムともに良かったので次戦のオートポリスではポイントを獲得できる雰囲気を感じられています。チームが最大限の力を発揮すれば良い結果がついて来ると期待しています！」



Liang Jiatong

「第6戦もチームの仲間たちのサポートに深く感謝します。スポーツランド菅生は『魔物が棲んでいる』というのは聞いていましたが、その慣用句にふさわしいテクニカルなコースでした。しかし、そのような難しいコースの中でもっと追いつけたかったです。今回もアクシデントによる赤旗中断がありましたが、ドライバーが無事であると聞き本当に安心しています。自分自身としても、良平さんから上手くバトンタッチしてもらい、無事完走することができ良かったです。次戦は九州でのレースとなりますが、引き続きベストを尽くしていきます。」

PARTNERS



SPONSORS

